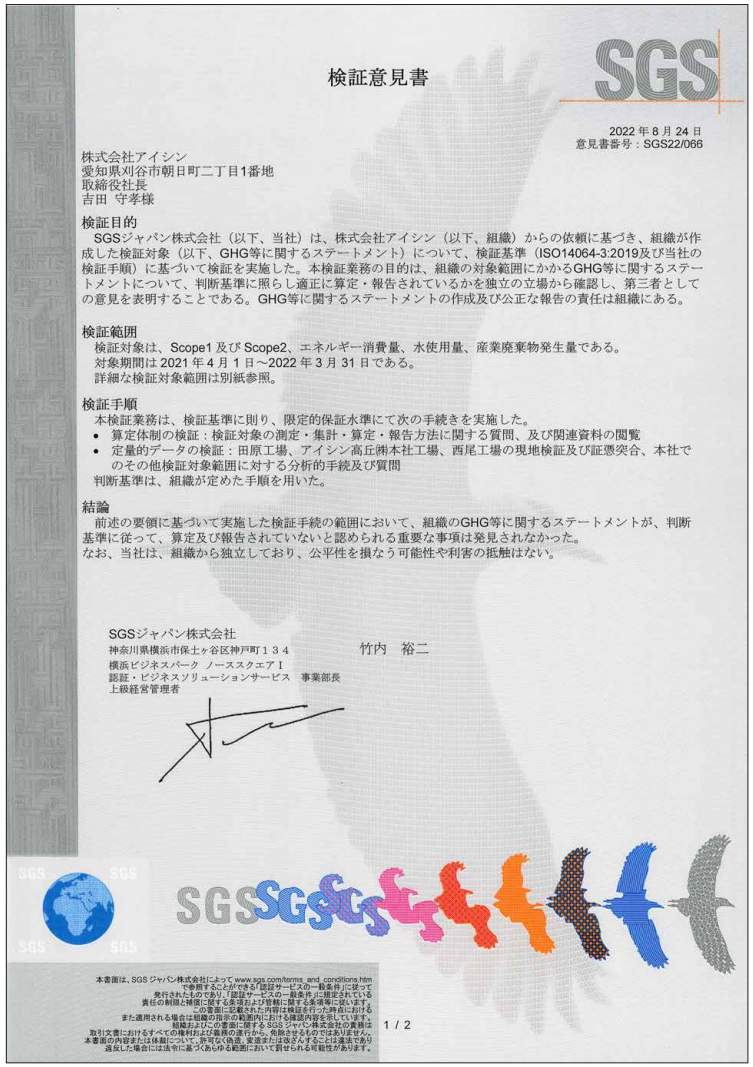
環境関連データ

環境マネジメント GRI 102-56

検証意見書



検証意見書

SGS

2022 年 8 月 24 日
意見書番号：SGS22/066

株式会社アイシン
愛知県刈谷市朝日町二丁目1番地
取締役社長
吉田 守孝様

検証目的
SGSジャパン株式会社（以下、当社）は、株式会社アイシン（以下、組織）からの依頼に基づき、組織が作成した検証対象（以下、GHG等に関するステートメント）について、検証基準（ISO14064-3:2019及び当社の検証手順）に基づいて検証を実施した。本検証業務の目的は、組織の対象範囲にかかるGHG等に関するステートメントについて、判断基準に照らし適正に算定・報告されているかを独立の立場から確認し、第三者としての意見を表明することである。GHG等に関するステートメントの作成及び公正な報告の責任は組織にある。

検証範囲
検証対象は、Scope1 及び Scope2、エネルギー消費量、水使用量、産業廃棄物発生量である。
対象期間は 2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日である。
詳細な検証対象範囲は別紙参照。

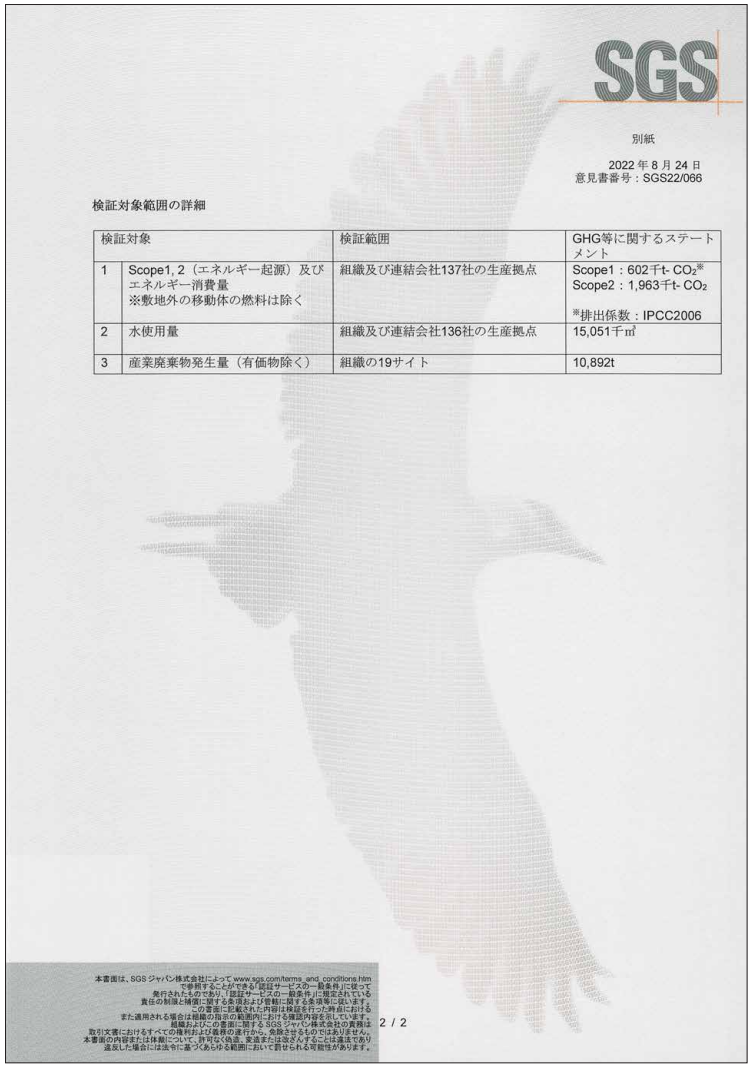
検証手順
本検証業務は、検証基準に則り、限定的保証水準にて次の手続きを実施した。
- 算定体制の検証：検証対象の測定・集計・算定・報告方法に関する質問、及び関連資料の閲覧
- 定量的データの検証：田原工場、アイシン高丘㈱本社工場、西尾工場の現地検証及び証憑突合、本社でのその他検証対象範囲に対する分析的手続及び質問

判断基準は、組織が定めた手順を用いた。

結論
前述の要領に基づいて実施した検証手続の範囲において、組織のGHG等に関するステートメントが、判断基準に従って、算定及び報告されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。
なお、当社は、組織から独立しており、公平性を損なう可能性や利害の抵触はない。

SGSジャパン株式会社
神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町１３４
横浜ビジネスパーク ノーススクエアⅠ
認証・ビジネスソリューションサービス 事業部長
上級経営管理者
竹内 裕二

本書面は、SGS ジャパン株式会社によって www.sgs.com/terms_and_conditions.htm で参照することができる「認証サービスの一般条件」に従って発行されたものであり、「認証サービスの一般条件」に規定されている責任の制限と補償に関する条項および管轄に関する条項に従います。この書面に記載された内容は検証を行った時点における情報および書面に関する SGS ジャパン株式会社の責任は、また適用される場合は組織の取引の範囲内における構造内容を示しています。取引文書におけるすべての権利および義務の遂行から、免除させられるのではありません。本書面の内容または体裁について、許可なく偽造、変造または改ざんすることは違法であり違反した場合には法令に基づくあらゆる範囲において罰せられる可能性があります。



SGS

別紙

2022 年 8 月 24 日
意見書番号：SGS22/066

検証対象範囲の詳細

検証対象		検証範囲	GHG等に関するステートメント
1	Scope1, 2（エネルギー起源）及びエネルギー消費量 ※敷地外の移動体の燃料は除く	組織及び連結会社137社の生産拠点	Scope1：602千t- CO_2※ Scope2：1,963千t- CO_2 ※排出係数：IPCC2006
2	水使用量	組織及び連結会社136社の生産拠点	15,051千㎥
3	産業廃棄物発生量（有価物除く）	組織の19サイト	10,892t

本書面は、SGS ジャパン株式会社によって www.sgs.com/terms_and_conditions.htm で参照することができる「認証サービスの一般条件」に従って発行されたものであり、「認証サービスの一般条件」に規定されている責任の制限と補償に関する条項および管轄に関する条項に従います。この書面に記載された内容は検証を行った時点における情報および書面に関する SGS ジャパン株式会社の責任は、また適用される場合は組織の取引の範囲内における構造内容を示しています。取引文書におけるすべての権利および義務の遂行から、免除させられるのではありません。本書面の内容または体裁について、許可なく偽造、変造または改ざんすることは違法であり違反した場合には法令に基づくあらゆる範囲において罰せられる可能性があります。